

平成21年度 決算報告書

国立大学法人大分大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,225	9,654	△ 570	(注1)
施設整備費補助金	1,227	1,547	321	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	15	1,657	1,642	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	53	53	—	
自己収入	14,429	17,691	3,262	
授業料、入学料及び検定料収入	3,366	3,367	1	(注4)
附属病院収入	10,752	13,989	3,238	(注5)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	311	333	22	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	889	1,420	531	(注7)
引当金取崩	367	272	△ 94	(注8)
長期借入金	418	385	△ 32	(注9)
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	—	—	—	
旧法人承継積立金	—	—	—	
目的積立金取崩	702	1,383	681	(注10)
計	28,326	34,065	5,740	
支出				
業務費	21,360	24,213	2,853	(注11)
教育研究経費	9,271	8,548	△ 721	
診療経費	12,089	15,664	3,575	
一般管理費	3,524	3,220	△ 304	(注12)
施設整備費	1,698	1,985	288	(注13)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	15	1,648	1,633	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	889	1,298	408	(注15)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	840	810	△ 29	(注16)
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	28,326	33,177	4,852	
収入－支出	—	887	887	

端数処理の関係で集計額は必ずしも一致していません。

なお、予算額は百万円未満の端数を四捨五入、決算額は百万円未満の端数を切捨し表示しております。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当に係る前期までの未収益化分を予算計上したところであるが、実際には収益化額が少なかつたため、予算金額に比して決算金額が 570,822,709円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、国の補正予算において事業費が追加で措置されたため、予算金額に比して決算金額が 321,355,753円多額となっています。
- (注3) 補助金については、国の補正予算において国立大学法人設備整備費補助金等が追加で措置されたため、予算金額に比して決算金額が 1,642,004,113円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、受験者の増加による検定料収入の増加により、予算額に比して決算金額が 1,549,585円多額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、7対1看護の実施、手術件数の増加、外来患者数の増加、外来化学療法増加等により、予算金額に比して決算金額が 3,238,275,341円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、保育所等の助成金による収入の増加及び保険金収入等のため、予算金額に比して決算金額が 22,399,171円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究・受託事業の増加及び寄附金等の獲得に努めたため予算金額に比して決算金額が 531,600,986円多額となっております。
- (注8) 引当金取崩については、引当対象退職者が少なかったことなどにより、予算金額に比して決算金額が 94,492,088円少額となっています。
- (注9) 長期借入金については、学生寮整備に係る民間金融機関からの借入について、借入額が予定よりも少額となったため、予算金額に比して決算金額が 32,933,000円少額となっています。
- (注10) 目的積立金取崩については、教育・研究・診療に係る環境整備、学生生活・課外活動に係る環境整備等を行ったため、予算金額に比して決算金額が 681,153,963円多額となっています。

- (注11) 業務費については、教育研究経費は退職金に係る不用額の発生、給与改定による人件費の減少及び経費の節減に努めたため、診療経費は(注5)に示した理由に伴う人件費・医薬品・医療材料費等の増のため、予算金額に比して決算金額が 2,853,862,338円多額となっています。
- (注12) 一般管理費については、役員退職金に係る不用額の発生、給与改定による人件費の減少及び経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が 304,002,026円少額となっています。
- (注13) (注2) 及び(注9) に示した理由により、予算金額に比して決算金額が 288,422,753円多額となっています。
- (注14) (注3) に示した理由により、予算金額に比して決算金額が 1,633,943,358円多額となっています。
- (注15) (注7) に示した理由により、予算金額に比して決算金額が408,991,258円多額となっています。なお、支出額のうち339,126,285円は前年度以前における収入に対応する支出額となっています。
- (注16) 民間金融機関からの借入金が予定よりも少額になったこと及び借入時期の繰り下げにより償還金の償還開始が遅くなったため、予算金額に比して決算金額が 29,110,735円少額となっています。